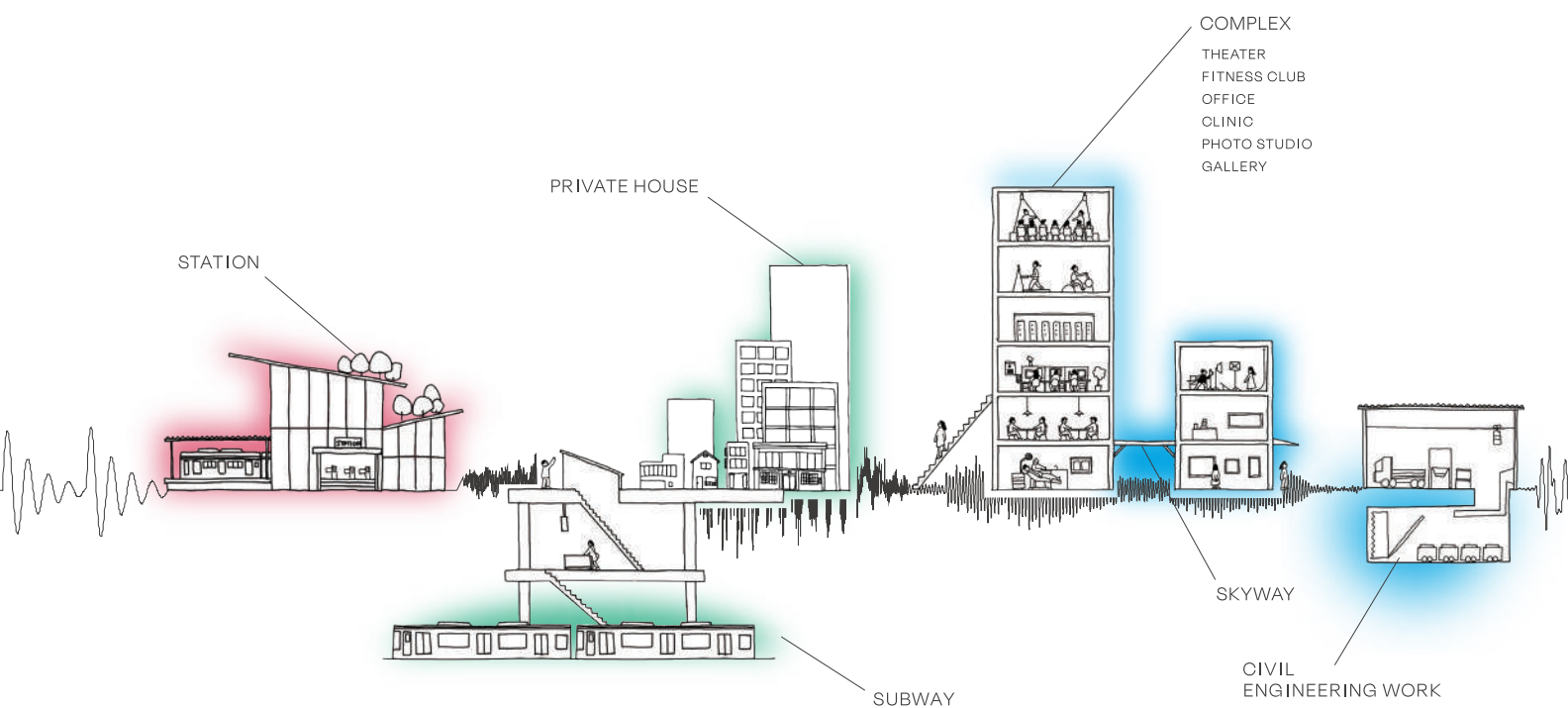


CORPORATE PROFILE

都市に心地よさをデザインする
DEEP SENSE / ENGINEERING

ヤクモは

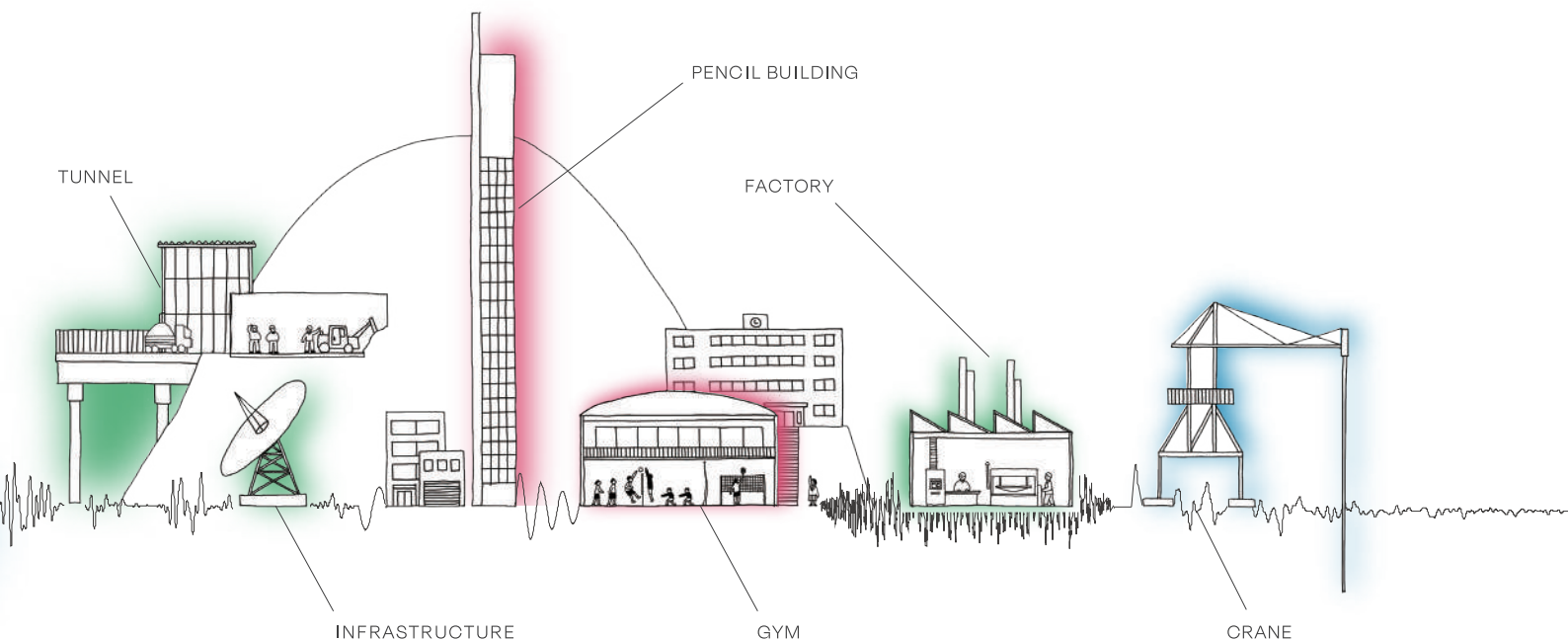
振動・騒音・地震対策の総合エンジニアリング企業として、
60年以上、社会の安心・安全を支えています。



CONTENTS

もくじ

沿革	03
代表挨拶	04
ヤクモグループについて	05
技術概要	06
防音技術	07
防振技術	08
固体音技術	09
免震技術	10
制振技術	11
ショールーム	12
オフィス&ファクトリー	13



HISTORY

沿革

1963

- 5月 八雲工業株式会社設立 資本金100万円
会社を東京都品川区大崎3丁目6番7号に置く

1965

- 6月 資本金を300万円に増資

1968

- 10月 会社所在地を
東京都品川区東五反田
5丁目10番18号(岩田ビル)に移す



1968年 岩田ビル

1969

- 5月 社名を八雲工業株式会社からヤクモ工業株式会社に商号変更
10月 資本金を600万円に増資

1970

- 4月 大阪出張所を開設

1974

- 6月 建設業許可を取得(東京都知事 般49-19072)

1975

- 12月 資本金を3,800万円に増資

1976

- 4月 優良申告法人として品川税務署から表彰状を受ける
デービー株式会社設立

1978

- 8月 計量証明事業登録を取得
(東京都知事第705号)



1991年 那須工場

1990

- 4月 資本金を4,940万円に増資

1991

- 4月 社名をヤクモ工業株式会社からヤクモ株式会社に商号変更
那須工場完成 稼働

1996

- 1月 名古屋営業所開設
7月 会社所在地を東京都品川区東五反田5丁目10番25号に移す
11月 五度優良申告法人として品川税務署から表彰状を受ける

1997

- 1月 福岡営業所開設
4月 資本金を6,000万円に増資

1998

- 7月 一級建築士事務所の東京都知事登録
9月 建築工事業、大工工事業、屋根工事業、
タイル・レンガ・ブロック工事業、鋼構造物工事業、
内装仕上工事業の東京都知事登録

1999

- 12月 ISO14001(環境)取得

2002

- 4月 台湾現地子会社設立



2004年 本社ビル

2004

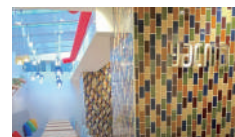
- 8月 会社所在地を東京都品川区大崎5丁目4番18号に移す

2011

- 12月 大阪営業所を大阪市西区江戸堀1丁目9番地11号に移す

2020

- 7月 東京本社ショールーム開設



2020年 東京ショールーム

2022

- 1月 ヤクモホールディングス株式会社設立

2024

- 4月 名古屋ショールーム開設

2026

- 1月 社名をデービー株式会社からヤクモデービー株式会社に商号変更
2月 東京本社に「DEEP SENSE / BASE」開設

MESSAGE

代表挨拶

都市の中で目立たないけれど、
あると安心できる存在——
「ビタミン剤のような役割」を担いたい



私たちは、創業から60年以上にわたり、
「音」や「振動」といった目に見えない問題に向き合いながら、
暮らしや仕事のことを少しでも快適にするお手伝いをしています。

静かで落ち着いた空間は、人の気持ちを穏やかにし、
安心して過ごせる環境につながります。
そんな空間づくりを、私たちはずっと大切にしてきました。

これまで、工事現場での騒音対策や幹線道路沿いの振動抑制、
学校や病院の静音環境づくりなど、
さまざまな現場で私たちの技術を活かしてきました。

たとえば、ある小学校では、体育館からの床衝撃音の低減を目的とした防振床施工を行い、
子どもたちが落ち着いて授業に取り組める環境を整えることができました。

また、地震対策として導入されたサーバーラック用の免震装置では、
情報機器の安全性を高めることができ、
IT企業やデータセンターから高い評価をいただいています。

こうした技術は、社会の安心・安全を支える大切な役割を果たしています。

最近では、老朽化した公共施設や商業施設のリノベーションにも力を入れています。
たとえば、築年数の経った文化施設では、音の響きや振動を見直すことで、
イベントや講演会の質がぐっと向上し、地域の方々にとっても心地よい場所へと生まれ変わりました。

これからも、地域の皆さまとともに、静かで穏やかな空間づくりを通じて、
心地よい毎日を支えていけたらと思っています。

代表取締役社長

舟木 英之

ABOUT

ヤクモグループについて



ヤクモホールディングス株式会社

事業内容	グループ会社の管理統括、経営戦略策定、資産管理運用を行っています。
所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
設立	2022年(令和4年)1月14日
資本金	10,000,000円



ヤクモ株式会社

事業内容	振動・騒音、地震対策の分野で調査・測定から解析・設計・施工・評価まで一貫したシステムでお客様のニーズにお応えしています。
所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
設立	1963年(昭和38年)5月30日
資本金	60,000,000円



ヤクモデービー株式会社

事業内容	振動・騒音対策に関する機器・材料、防振・免震装置や建築部材の製造販売、那須工場の運営を行っています。
所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
設立	1976年(昭和51年)4月8日
資本金	10,000,000円

TECHNOLOGY

技術概要

都市環境の中には、さまざまな音・振動があふれています。

ヤクモグループは、振動・騒音・地震対策の総合エンジニアリング企業として、

60年以上にわたり高精度な防振・防音・免震技術を提供してきており、

今後も居住空間・作業環境の改善を図りたいと考えています。

防音技術

現場で発生する騒音・振動対策に一貫対応するパイオニア

公共・民間工事を問わず、あらゆる建設工事が過密都市のいたるところで日夜継続され、人間の暮らしと隣り合わせになっています。ヤクモは、40年以上におよぶ豊富なデータとノウハウを基に、都市環境の中に「人にやさしい」を実現しています。

防振技術

振動・騒音対策のプロとして知的生産活動をサポート

IT化の波が押し寄せ、精密機器がより高性能・高感度になればなるほど、振動・騒音問題が大きくクローズアップされます。ヤクモは、60年以上にわたり培ってきたノウハウと豊富なデータにより、労働環境における振動・騒音の除去はもちろん、微振動にいたるまで徹底的なコントロールを実現します。

固体音技術

建築の防振・防音に関する設計・施工のリーディングカンパニー

人はそれぞれの状況に合わせて、心地よいと感じる音・振動環境が異なります。ヤクモは、「静けさのパートナー」として、暮らしのさまざまなシチュエーションにおいて静穏を生み出すお手伝いをしています。心からくつろげるライフステージづくりを目指します。

免震技術

美術品から大規模データセンターまで地震対策をバックアップ

かけがえない美術品が地震による振動で転倒したり、大切なデータを蓄積するコンピュータサーバーが記憶装置に影響を受けたりすれば、その損害は甚大なものになります。ヤクモは、調査・測定から設計・施工、アフターサービスにいたるまであらゆるフェーズで最適な免震システムを提供します。

制振技術

あらゆる振動をコントロールして構造物の付加価値を向上

ビルや橋等の構造物が風や地震で大きく揺れると、居住性の悪化や構造への影響が心配されます。ヤクモの培ってきた防振・防音に関するテクノロジーは、それらの悪影響を及ぼす振動をコントロールする商品・技術を目的によりご提案します。

防音・防振のパイオニアとして、確かな技術と豊富な実績で、安心・快適な環境をお届けします。



技術概要

都市の暮らしの中には、鉄道・道路・上下水道・電力・ガス・通信・共同溝などのさまざまなインフラ工事に伴う騒音や振動が絶えず発生しています。ヤクモは防音・防振のパイオニアとして、これらの工事現場に最適な防音・防振設備と技術を提供し、周辺環境への負荷を大幅に低減する事に貢献しています。また、防音設備については工場の仮設倉庫や、休眠土地の有効活用としてもご利用いただけます。人とまちにやさしい、安心で快適な環境づくりを支えています。

設計コンサルティングから施工まで

防音・防振設備に関する幅広いニーズに応え設計コンサルティングから施工まで一貫したサービスを提供しています。設計段階から施工完了まで責任を持って取り組む体制により、発注者はもちろん地域のみならずにも安心と信頼を届け、快適な工事環境づくりを実現しています。

事例

課題

ある現場では工事現場が民家に近接しており騒音への配慮はもちろん、防音設備による日影の影響についても懸念がありました。さらに、防音設備施工時における安全確保も重要な課題となっていました。

解決策

計画段階では騒音および日影のシミュレーションを実施し最適な防音設備を選定しました。施工計画においては、安全面を考慮した作業手順や重機の配置を検討し無事故で工事を完了することができました。また防音設備設置後には効果測定を行い、設計から施工、検証まで一貫した対応を実現しました。



製品例



エクセルシャーレ
[BSK-C タイプ]

防音効果35dB仕様で、最も高性能な防音パネルです。外観が全面フラット構造のためグラフィックフィルムを貼り付けることでイメージアップ効果も図れます。



ハーモニーパネル
[BSK-B タイプ]

パネルジョイント構造で、パネル自体の強度が高く、柱などの鉄骨部材量が低減できます。防音効果30dB仕様で、エクセルシャーレに次ぐ効果を発揮します。



デービーエースパネル
[BSK-A タイプ]

主に防音壁に使用します。防音パネルをH型鋼の柱に落とし込む構造です。防音効果20dB仕様で、防音ハウスと併用し二重に対策することでさらに高い防音効果を発揮します。



RIS-B
[BSK-L タイプ]

超低周波音対策用にコンクリート複合パネルを採用しています。振動篩から発生する超低周波音低減効果25dB以上を発揮します。

産業機械向け振動対策をメインとした製品を取り揃えております。



技術概要

振動・騒音対策のプロとして60年以上にわたり培ってきたノウハウと豊富なデータにより、振動と騒音のない環境づくりを行ってきました。また、振動に対して影響を受けやすい精密機器などの除振技術も確立。調査・測定から設計・施工・アフターサービスまでのトータルシステムでお客様にご満足いただける快適な環境を提供します。

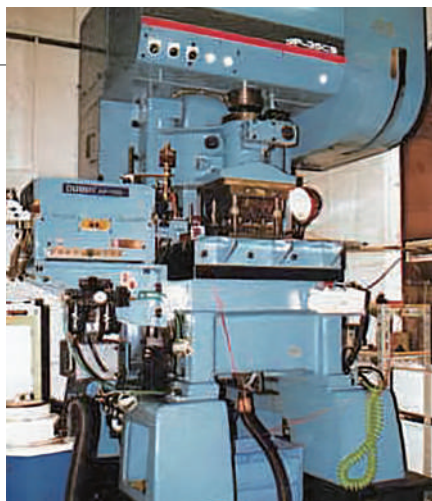
事例

課題

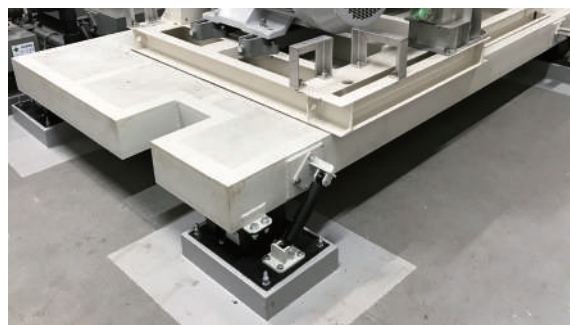
ある工場で、新たに30tプレス機を導入するにあたり、プレス機の稼働により発生する振動で、作業場の床揺れや近隣への影響が懸念されていました。

解決策

対策手段として、プレス機の下に空気ばねによる防振装置を設置する案が候補にあがりました。お客様からいただいた機械資料をもとに、プレス機から1m地点において非防振時の機械基礎の振動レベルに換算するとおよそ73から74dBと推定されました。防振装置を設置後、プレス機から1m地点において振動レベルを測定した結果、約50dBと機械振動環境を大きく改善しました。



その他実績例



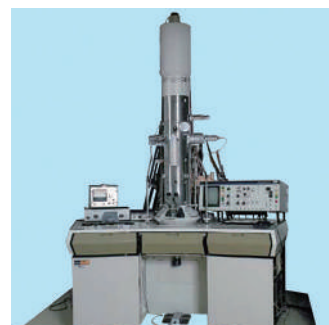
防振対策

あらゆる機械から発生する振動伝搬を防ぎます。周囲の環境リスク低減のために超大型機械から小型機械まで最適な方法を検討し、お客様に満足いただける環境を提供します。



除振対策

精密機械・測定機器に影響する外部振動の伝搬を防ぎます。外部からの振動の影響を嫌う高精度の試験・計測器などを抜群の除振効果を発揮する除振ユニットを使用し、安定した環境を提供します。



固体音（振動）対策を通じて、心地よい空間を創造します。



港区スポーツセンター

技術概要

都市の中に心安らぐオアシスを実現。ヤクモの持つさまざまな技術を組み合わせることで、騒音や振動によるストレスや生活の質の低下に悩む方々に対し、専門的な測定・分析・改善提案を行い、快適な生活環境の実現を支援します。

事例

課題

那須与一太鼓は、1993年に設立された創作太鼓団体で、小学校低学年から高齢の方が所属し、定例演奏会や各種イベントで活躍しています。当時は学校の体育館を借りて練習していましたが、周囲の方からの騒音苦情が寄せられて問題となっていました。新たに那須与一の伝承施設の建設を機会に、和太鼓の練習が可能な多目的ホールを設計することとなりましたが、多目的ホールから50mほどの所に民家があり、夜間も練習することから、できる限りの防音対策が必要とされました。

解決策

当社の工場が那須塩原市にあった縁で、防音対策の設計協力を求められました。和太鼓は低音が大きい音源なので、低域効果の大きい中空セメント版を用いた遮音材で、天井や壁から独立した柱を用いたコンクリート浮き床の完全浮き構造を設計提案し、空調排煙に関してはサイレンサーを提案し、万全の対策で騒音問題のない建物を提供できました。



那須与一伝承館 多目的ホール

建築部材



シールハンガー（吊り型防振ゴム）

防振・耐震天井向けのハンガー類を製造しています。圧縮型、せん断型があり、防振天井の仕様に合わせてお選びいただけます。



シールブロック

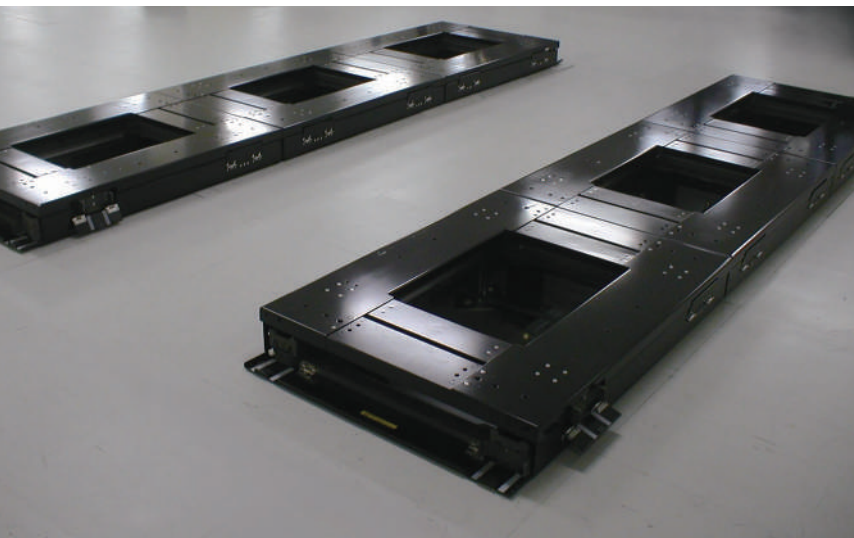
遮音シールゴム（シールブロック）を製造しています。遮音貫通ボルトに差し込み、押し上げるだけで、取り付けは簡単です。



ユニットバス用防振ゴム

ユニットバス用防振ゴムを製造しています。防振ゴムと壁が接触する場合でも側面が膨らんでいるため、メタルタッチを回避し、振動伝達を抑えます。

卓越した免震技術で、安心・安全を創り出します。



技術概要

大切なデータを蓄積するコンピューターサーバーが地震による振動で記憶装置に影響を受けて破損するようなことがあれば、その損害は甚大なものになります。ヤクモは、それらの悪影響をおよぼす振動をコントロールする商品、技術を目的に応じてご提案いたします。

事例

課題

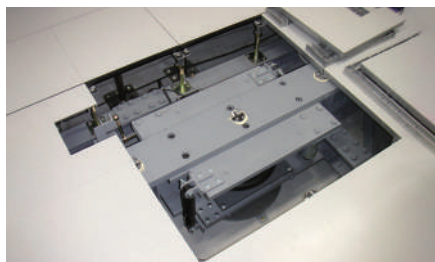
大地震には余震がつきものです。1回目の地震に耐えた免震装置は、多くの場合、原点位置(元のステージ位置)からずれており、そのまましていると免震ステージの可動範囲が確保できず、数回の余震により1tを超えるサーバーラックが転倒する可能性があります。そして、原点に復帰させようと作業者が現場に向かったときに余震が発生してしまったら、地震対策において最も重要な作業者の安全が脅かされます。

解決策

ヤクモの免震装置「サーバーウテナ」は、円弧レールを採用しているので、地震の揺れがおさまった時に自動で元の位置に復帰します(自動原点復帰機能)。結果として2016年4月14日に発生した熊本地震では、本震後、何度も大きな余震が発生しましたが、当社の免震装置「サーバーウテナ」を導入されたお客様のサーバーは、そのような状況下でも倒れることなく、さらに継続して稼働できました。

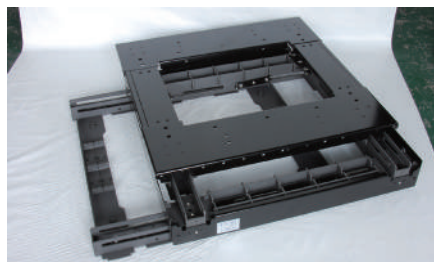


その他実績例



免震床

フロアに伝わる地震力を大幅にカット。歴史的展示物やIT時代の設備・施設をしっかりと守ります。水平2次元・上下・3次元 免震床とそれぞれのニーズに合わせたシステムをご提案します。



サーバーウテナ (サーバーラック用免震装置)

サーバーラックに伝わる地震力を大幅にカット。許容変位量が大きく、建物の中層階にも設置可能な最高水準の免震効果と信頼性を有しています。



エンジェルウテナ

貴重な美術品や文化財を地震から守り、その価値を次世代に伝えます。超小型免震台(エンジェルウテナ)は、コンパクトなサイズで最高水準の性能を発揮します。エンジェルウテナ以外の特注品のご要望にもお応えします。

環境振動という課題に対して、お困りごとを解決します。



技術概要

ビルや構造物が風や歩行、交通振動などで大きく揺れると居住性の悪化や構造への影響が懸念されます。また、構造的な制約から柱の設置など構造上での対策が難しいこともあります。設計デザインと居心地よさの両面を追求するべく、ヤクモは、それらの悪影響を及ぼす振動をコントロールする商品、技術をご要望に応じてご提案いたします。

事例

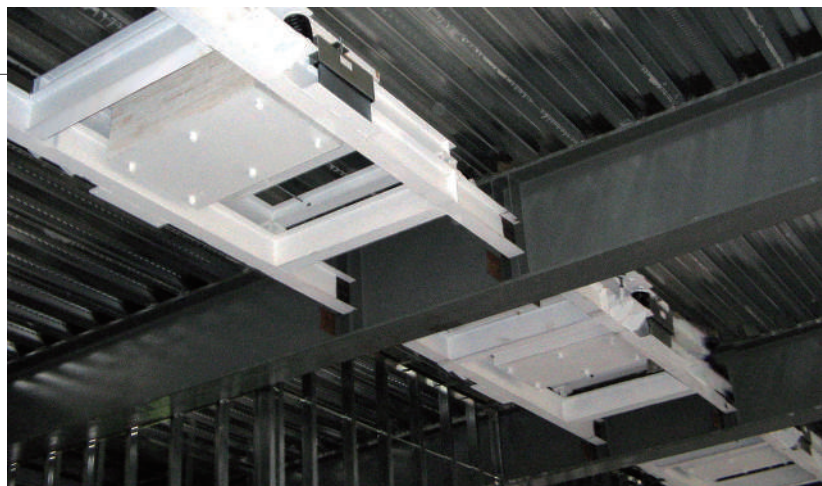
課題

ある工場では、ロングスパンな渡り廊下の建設が計画されていました。設計者側による構造解析の結果、歩行時の共振によって中央部が大きく揺れる可能性が懸念されました。

また、この渡り廊下は休憩時間などに多くの人が利用すると想定されるため、さらに揺れが大きくなる可能性が高く、快適性・使用性の観点から対策が必要とされました。

解決策

構造的な対策が困難であったため、本事例では制振装置(TMD)による対策を実施しました。TMDは、制振対象の固有振動数とTMDの振動数を合わせることで揺れを効果的に抑えます。設置後の測定の結果、非制振時と制振時を比べると、約1/3に振動が低減することができました。



その他実績例



TMD (上下振動・水平振動)

構造物の歩行・交通・風などによる振動を低減し、居住性及び耐久性を向上させます。水平用・上下振動用制振装置と用途に応じて、最適の製品をご提案します。



薄型TMD (フロアメイト：FM-30)

歩行や外部交通振動等によって発生する床・階段・通路の揺れを低減する装置です。



AMD (上下振動・水平振動)

付属の加速度センサーで対象の振動を感知し、その振動に振動マス(錘)を同調させることで対象の振動を吸収し抑える仕組みになっています。主に歩行振動や機械振動などの鉛直方向や、風振動による水平振動対策をするのに用いられます。

SHOWROOM

ショールーム

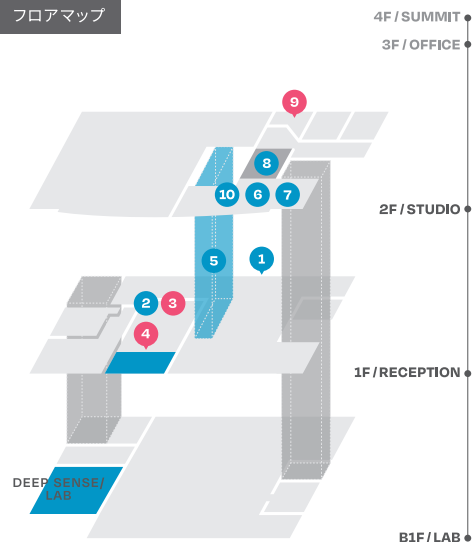
東京本社ショールーム



2026年春、リニューアルオープン

日常に潜む「振動や音の不快」を発見し、解決策を見出すことができるショールームです。1階で不快への気づきを得て、2階で解決策を知り、B1階では未来への安心感を得ることができます。ご見学いただいた後、「ヤクモと一緒に、この快適な未来を創りたい」そう思っていたいただけるような空間と体験をご用意しております。

フロアマップ



- 1 YACMO 歴史年表
 - 2 サーバウテナ
 - 3 水平振動体感装置
 - 4 揺れる床・上下振動用 AMD/TMD
 - 5 フロアメイト
 - 6 水平振動用 AMD
 - 7 エンジェルウテナ
 - 8 フロアウテナ
 - 9 防音効果体感ブース
 - 10 立体メッシュ換気システム
- … 体感可能な展示物

名古屋ショールーム



振動・騒音問題に対する総合ソリューション空間です。歩行や工場機械で発生する縦揺れをシミュレーターで体感でき、免震台・免震床・防振装置などの実機を見て触れることで振動対策に対する理解を深めつつ、専門家のコンサルティングを受けることができます。

ショールームについて



OFFICE&FACTORY

オフィスと工場

東京オフィス



那須工場



ヤクモホールディングス株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
<https://www.yacmo.co.jp/corporate/hd/>
TEL 03-5496-7578(代) FAX 03-3779-5132(代)



ヤクモ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
<https://www.yacmo.co.jp/>
TEL 03-5496-7555(代) FAX 03-5496-5888(代)



東京オフィス

〒141-0032 東京都品川区大崎5-4-18
TEL 03-5496-7555(代) FAX 03-5496-5888

大阪オフィス

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-11 アイ・プラス江戸堀3F
TEL 06-4803-8851(代) FAX 06-4803-8852

名古屋オフィス

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F
TEL 052-961-3851(代) FAX 052-961-3841

ヤクモデービー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎5丁目4-18
<https://www.yacmo.co.jp/db/>
TEL 03-5496-7645(代) FAX 03-5496-5888(代)



那須工場

〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町741
TEL 0287-37-5666(代) FAX 0287-37-5667